

明星大学地域交流センター

Newsletter

Vol.12

(2024/03/01 発行)

1 学友会・学生による地域活動

◆【明星学苑創立 100 周年企画】硬式野球部・男子籠球部によるスポーツ教室 (12/2)

12月2日(土)、「明星学苑創立 100 周年」を記念し、明星大学硬式野球部及び男子籠球部が、地元である日野市をはじめとした地域の子もたちにそれぞれの競技の教室を実施しました。当日は野球場にて開会式を行い、各団体学生から挨拶、全体記念写真を撮影した後、団体ごとに分かれて教室を開催しました。

- 参加児童数
- ・野球教室約 150 名
- ・バスケ教室約 50 名
- たいへんにぎやかで活発な
- スポーツ教室になりました



硬式野球部



明星大学硬式野球部による、近隣の少年野球チームを招いての野球教室は 4 年ぶり。大学生や子どもたちのメンバーも代替わりし、双方ともに新たな気持ちでの交流がスタートしました。

部員たちは「明るく楽しく」をモットーに、参加した子どもたちとコミュニケーションを取りながら、野球教室を進めていきました。

ポジションごとに分かれての練習では、大学生が工夫を凝らし、少年野球チームが普段から応用できる実用的な練習メニューを取り入れました。

また、大学生の迫力ある打撃練習に子どもたちが歓声を上げる一幕もありました。

各団体との交流を図るとともに、大学生にとっても初心にかえることができた、学びのある一日となりました。





男子籠球部では、明星学苑創立 100 周年記念として、硬式野球部とともにスポーツ教室を開催しました。普段、学友会団体間の交流がありませんので、このような機会は非常に貴重なものとなりました。

明星大学男子籠球部は、独特のスタイルからバスケットボール界では「明星ストリートボール大学」と呼ばれており、その名にちなんで今回は体育館ではなく、屋外で実施しました。

青空のもと、参加してもらった小中学生とともに、普段の練習の中から明星大学の戦術の基礎である「ドリブル」メニューを体験してもらいました。最後には、学んだことを活かして、大学生と 1 対 1 で対決して大いに盛り上がりました。

明星大学男子籠球部では、引き続きこのような地域貢献活動に力を入れてまいります。

◆「第 20 回ひのよさこい祭」に学生が司会として協力参加 (9/30)



9 月 30 日 (土)、日野市 JR 中央線 豊田駅周辺にて、6 年ぶりにひのよさこい祭が開催されました。第 20 回となる今回は、「ひのよさこい祭～復活の刻 鳴子の舞が鳴動する！」をテーマに各団体が演舞を披露。

明星大学からは、学生が式典司会で協力し、まつりを裏方で支えました。

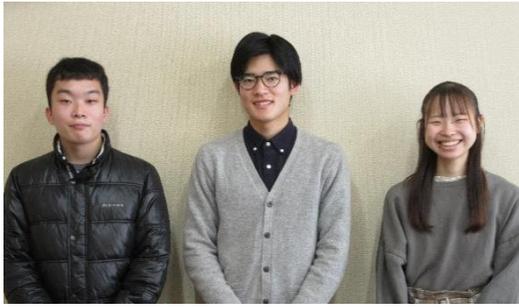
◆チアリーディング同好会 Miracle☆Stars が、多摩市の桜ヶ丘延寿ホーム「秋桜祭」に参加 (10/14)



10 月 14 日 (土)、桜ヶ丘延寿ホーム (多摩市) で行われた「秋桜祭」を盛り上げるべく、明星大学学友会 チアリーディング同好会 Miracle☆Stars が、パフォーマンス部門に参加しました。

当日は、Miracle☆Stars のパフォーマンスをたいへん喜んでいただき、学生と地域の方・施設の方との交流を深めることができました。





略して「きょーけん」。今年で創立 59 年目となりました。当初から子ども会との関わりを主軸に掲げ、現在では子ども会運営と、教育に関する学習会を 2 本柱とし、大学から徒歩圏内の三井台つくし子ども会・わかば子ども会の 2 つの子ども会の運営に携わっています。今年度は、子ども会に入る子が増え、保護者の参加も多く、活動が活発になっているそうです。

3 年生で前部長の藤田真帆さん、前副部長の廣瀬歩夢さん、2 年生新部長の戸辺一輝さんにお話を伺いました。

3 名とも「コロナ禍でも継続して活動していたこと」「部員全体でものごとを作り上げていること」が入部した決め手。また、廣瀬さんは住まいが丁度わかば子ども会の区域内で、「子どもたちとすれ違うのも入部のきっかけ。地域貢献活動がしたくて」と話してくれました。

藤田さんたち 3 年生が入学したのは 2021 年コロナ禍の中。活動は子ども会の保護者の方と連携して、ZOOM で行っていたのですが、とにかく会って活動がしたかったとのこと。

対面活動が可能になった後も、コロナ陽性者が出てしまうと、予定していた活動に学生が参加できないこともありました。

会えなくても、新入生へのプレゼントを作って郵送するなど、繋がりを持つ努力を続けていたそうです。

◆現在の子ども会活動について

今年度から制限なしの活動ができるようになり、サマーキャンプやお芋ほり、クリスマス会などのイベント企画・運営を実施するほか、地域清掃や盆踊りにも参加しています。

サマーキャンプに参加する部員は、例年救命救護訓練を受けてから臨みます。宿泊のある子ども会活動は部員全員が初めて。八王子市・夕焼け小焼けふれあいの里でのキャンプにて総司会を務めた戸辺さんに、その様子を伺いました。

「子ども＋学生という単位でテントに分かれて宿泊しました。自分を含め、キャンプ経験のある部員がいて、うまく運営することができたと思います。子どもたちが寝ないだろうと思ってたくさんレクリエーションをいれたら、夜はテントでも皆ぐっすり寝てくれてよかったです。(キャンプ場は)夏でも寒暖差があったので、熱中症や、寒くて風邪をひかないかななどを特に配慮しました。保護者の方々とも連携して、無事大きなイベントをこなすことができました。」



◆子ども会活動の魅力

子ども会の運営では工夫も必要で、低学年と高学年では出来る遊びが異なったり、低学年では楽しめる遊びが高学年には物足りないときに、高学年にリーダーをお願いしたり、高学年だけのチームを作ったりしてレベルが合うように気を配るそうです。長期間子ども会と関わることで、低学年のときはつきっきりでサポートしていた子が、学年が上がると低学年への配慮ができるようになったり、元気な男子が、新入生が入ってくると急に大人になって低学年の面倒をみるようになったり、幼稚園生だった弟が入るとしっかりしてくるなど、子どもたちの成長を間近に見られるのが、教育研究部の活動の魅力とのこと。廣瀬さん「きょーけんでは、反省会をしっかりしています。子ども会の行事でこんなことがあったという事を部員で共有し、記録に残して次年度に活かしています。部員同士で情報交換をしっかりしているので、子どもたちの成長を感じ取ることができるのだと思います」

◆教育研究部のもう一つの柱「学習会」は、基本 ZOOM で実施。教育に関すること以外でも、自分が発表したい内容で意見を交わすとのこと。色々な意見を出し合う目的で、ざっくばらんな話し合いができるのがいいそうです。

◆明星大学学園祭『星友祭』では、模擬店でポップコーン販売、展示では活動紹介の他、子ども向けの工作コーナーや、子ども向けのレクリエーションを提供、関わっている子ども会の皆さんにもご来場いただきました。3 年生にとっては活動の集大成で、引退となります。新部長となった 2 年戸辺さんは、部員の意見がうまく上がってこられるように、発言しやすい環境を作っていきたいと意気込みを語ってくれました。



サマーキャンプの様子

◆教育研究部から読者の皆さんへメッセージ

「地元多摩地域の出身で入部してくる人も多い、地域に密着した部です。この地域をよく知っている人の入部も待っていますし、ぜひ今回紹介した子ども会への新しい会員もお待ちしております。

地域密着型で色々なイベントにも参加協力しています。地域との交流の中で子ども会を中心に活動しています。今後とも地域の皆さま、よろしくお願いいたします。」



教育研究部の皆さま、たくさんお話いただきありがとうございました。日野市地域協働課発行の「地域かわら版 Vol.30」にもきょーけんの活動が紹介されています。今後のご活動も楽しみにしております！

◆第58回明星大学学園祭『星友祭』の実施(11/3~5)



11月3日から5日の3日間開催となった今年度の星友祭は、行動制限のない4年ぶりの完全対面開催となりました。日程と天候にも恵まれ、2019年度以来、1万人を超える来場者がありました。

明星学苑100周年記念で実施されたプリクラ、縁日やステージ、模擬店などを、たくさんの方々にお楽しみ頂きました。



2 明星大学提供の公開講座

◆ひの市民大学大学連携コースで講演(12/16)

多摩市×日野市 令和5年度 たま学びテラス事業

ひの市民大学 大学連携コース
東京薬科大学・帝京大学・実践女子大学・中央大学・明星大学の学びをお届けします！

「たま学びテラス」は、日野市と多摩市の協力が進展し、多摩地域の皆様のご関心を満たし、心豊かにする学びを提供するプロジェクトです。令和5年度の「ひの市民大学 大学連携コース」も日野市独自の学びから、その大学ならではの魅力的な講義を提供していただきます。この機会にぜひ、新しい形の学びを始めませんか！

講義名	講師
11/7(土) SDGsと地球環境	中央大学 理学部教授 西川 可織子 氏 〒200-8582 日野市
11/11(土) 縁日 青山交流センター 子どもたちのための編み物セミナー	実践女子大学 多摩実践教育センター副センター長 花輪 純 氏
12/2(土) 地球環境講座 実践女子大学の創立者の歴史 ~近代史としての女性の生き方~	実践女子大学 人間社会学部教授 及び 多摩市 氏 〒200-8582 日野市
12/9(土) 地球環境講座 地球環境を担っている私たち~	明星大学 教育学部准教授 岡部 聖樹 氏 〒200-8582 日野市
12/16(土) 地球環境講座	明星大学 理工学部教授 亀卦川 幸浩 氏 〒200-8582 日野市

● 講座時間：13:30~15:30
● 対象：多摩地域の市民の皆さん
● 参加費：無料
● 申込先：電話・電子申請または来館

● 受講方法：会議室またはオンライン参加(電子申請後参加のみの受講も可)
● 定員：第1・3・4・5回 先着40人 第2回 先着20人
● 申込先：電話・電子申請または来館

多摩市×日野市 令和5年度たま学びテラス事業「ひの市民大学大学連携コース」の第5回に、明星大学理工学部総合理工学科環境学系亀卦川幸浩教授が講座を提供しました。この市民講座は、多摩地域の市民の皆さんに向けて開講されています。

タイトルは「地球環境講座一気候変動を知っていますか」。今問題になっている気候変動について、環境学系の学識者として講演しました。

◆令和6年度前期いちょう塾へ講座を提供

18歳以上の方なら誰でも学ぶことができる市民講座です。詳しくは「八王子学園都市大学いちょう塾」のサイトや冊子でご確認ください。

	講師名	主題	副題
月別	金澤 修	ラテン語を始めてみようⅢ	楽しく学ぶラテン語初歩の初歩
月別	金澤 修	ラテン語を始めてみようⅤ	楽しく学ぶラテン語初歩の初歩
月別	金澤 修	古典ギリシア語を始めてみようⅢ	楽しく学ぶ古典ギリシア語初歩の初歩
月別	金子祥之	『平家物語』の世界を読む第七期	「物語られる歴史」をいかに読むか
月別	杉本公子	中国語基礎	発音と言葉に触れてみませんか
公開	山本陽子	地獄と極楽	日本美術で地獄と極楽めぐり



発行：明星大学事務局
地域交流センター
住所：191-8506
東京都日野市程久保2-1-1

電話：042-591-5111 (内7160)
042-591-9445 (直通)
FAX：042-591-6261
Email：gad-tkc@ml.meisei-u.ac.jp